



炬火を掲げていざ謳う

No.23



我らの泉鳥取

2022年11月7日(月)

編集・発行 大阪府立泉鳥取高等学校 広報委員会

大阪府阪南市緑ヶ丘1-1-10

<https://www.osaka-c.ed.jp/custom91.html>

おいもが取り持つ地域連携

— 農園部・家庭科と幼稚園 —

去る10月31日、阪南市立はあとり幼稚園の園児21人が本校農園の芋ほりに来校しました。また、11月29日(火)にも31人が来校します。家庭科「生活文化」の幼児と触れ合う実習の一環として、幼稚園児たちとともに生徒たちは芋ほりを楽しみました。

この農園は平成13(2001)年、「スクールカラーサポートプラン」予算を活用して、使用されなくなっていた屋外バスケットボールコートを作成したものです。

もともと平成11(1999)年、富士松教頭を先頭とした教職員有志が校舎南側の植栽に畑を作ったことが泉鳥取高校と農園の出会いでした。その後大規模な造成の後、キャベツ、ブロッコリー、カリフラワーなどを栽培し、文化祭で収穫祭なども行ったのです。

平成14(2002)年度には農園同好会が発足(2005年、農園部に昇格)して、農園の管理を行うことになり、同年阪南市立朝日幼稚園との連携が実現しました。以来19年にわたって、朝日幼稚園と連携をしてきましたが、令和4(2022)年3月、朝日幼稚園が閉園したため、同年から「はあとり幼稚園」と連携しています。現在は、地域連携事業で最も大切な行事となっています。



みんなで記念撮影(10月31日)

阪南市立はあとり幼稚園

阪南市石田にある幼稚園で、もともと波太、あかね、東鳥取の3幼稚園を統合した時に、3園の頭文字を取って命名された。令和4(2022)年には朝日、尾崎の2園も統合されたが、名前はそのままとなっている。



お見送りです



たくさんとれた!